

西洋文学B(1) 武末 祐子	履修年次	クラス	単位	学期
	1-4		2/4	後期/通年
備考： 西洋文学(1)				

### 【講義の概要】

西洋文学(1)

職人工房を訪れる

### 【授業の到達目標及びテーマ】

近年、日本各地であるいは世界各地で、職人たちの<技>が注目されている。ギリシア神話の<わざ師>といえ、火と鍛冶の神ヘファイストスだが、この神はどのような神なのか。ヨーロッパ文学の中で描かれた<わざart>と<わざ師>の関係を考察する。<わざ師>としては、技巧artの派生語である、ものづくり職人artisanから芸術家artistまでを射程に入れる。芸術&#8226;技術artとは何かというより、職人とその仕事に焦点をあてる。ヨーロッパ文学と絵画、特に19世紀フランス文学と絵画に登場する職人や画家たちの<わざ>を研究する。

### 【授業の概要】

この授業では、ギリシア・ローマ神話やヨーロッパの文学や、特に19世紀フランス文学作品に描かれた職人たちを中心にみていくが、19世紀の後半に登場する画家クロード・モネのアトリエも紹介する。室内から戸外へ移行する印象派のアトリエ(職人工房)を概観する。

### 【準備学習などについての具体的な指示】

授業は、毎回、パワーポイントを使った講義とDVD視聴とから構成される。プログラムにある文学作品を前もって読んでおくことが望ましい。

### 【授業計画】

(1) 序論

(2) ホメロス『イリアス』1：鍛冶屋ヘファイストス

(3) ホメロス『イリアス』2：アキレウスの武具

(4) オウィディウス『変身物語』：メデューサ

(5) メアリー&#8226;シェリー『フランケンシュタイン』

(6) オノレ・ド・バルザック『絶対の探究』1：研究室

(7) オノレ・ド・バルザック『絶対の探究』2：バルタザール

(7) ギュスターブ&#8226;フロベール『ボヴァリー夫人』1：薬剤師オマー

(9) ギュスターブ&#8226;フロベール『ボヴァリー夫人』2：ろくろ回しのピネ

(10) ギー&#8226;ド&#8226;モーパッサン『シモンのパパ』

(11) エミール&#8226;ゾラ『制作』1：画家とモデル

(12) エミール&#8226;ゾラ『制作』2：画家のアトリエ

(13) クロード&#8226;モネ：印象派画家のアトリエ

(14) クロード&#8226;モネ：シリーズ作品の誕生

(15) 結論

### 【テキスト】

なし

### 【参考書等】

高階秀爾『芸術のパトロンたち』岩波新書ほか

### 【成績評価の方法】

成績は、毎回の出席(30点)と最後に提出するレポート(70点)から評価する。

### 【履修上の注意】

特になし